

平成19年

三島公民館だより

11月

優勝旗は二つのチームへ

三島大運動会

「三島パワー全開 最後まで」を大会テーマに九月二十三日、地区住民一同が小学校に集い、大運動会が盛大に開催されました。小学校と地区の合同による運動会の開催も今年で六年目。保育所・小学校・一般総勢500人の選手が秋空の下、「飛んで、



前年度優勝チーム代表、渡邊照豊さんの威風堂々とした選手宣誓。校舎を揺るがす程の迫力の宣誓に、各部落の選手らが思わず背筋をピンと伸ばしていました。

【総合順位】

| 順位 | チーム名 | 総得点 |
|----|-------|------|
| 優勝 | 小松 | 169点 |
| 優勝 | 川上 | 169点 |
| 3位 | 広見 | 150点 |
| 4位 | 下大野 | 148点 |
| 5位 | 久保・延川 | 124点 |

【各種目の優勝者】

| 種目 | 優勝 | 競技結果 |
|---------|------|-------|
| 綱引き | 下大野 | 3勝1敗 |
| 150歳縄跳び | 下大野 | 全勝 |
| 220歳リレー | 川上 | 2位：小松 |
| 長靴・小学生 | 増原佳奈 | 17.4m |
| 〃一般 | 高橋福晴 | 28.1m |

【綱引き 対戦結果】

| チーム | 広見 | 下大 | 小松 | 久延 | 川上 | 順位 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 広見 | | × | × | × | × | 5 |
| 下大 | | | - | | | 1 |
| 小松 | | | | | | 2 |
| 久延 | | × | × | | × | 4 |
| 川上 | | × | × | | | 3 |

走って・転んで・呑んで、部落の勝利を目指しました。選手一丸となって流した汗は、秋空に負けないぐらいの爽やかさだったのではないのでしょうか。

過疎化・高齢化が進む中、毎年、盛大に大運動会が開催できるのも、選手の確保に尽力を頂く体協や部落役員の方々、また笑顔で競技に出場して頂く多くの皆様のお陰です。本当に有り難うございました。



マレーで打った玉がフープを通過するまで何回でもやり直しとなる老人クラブの「第一フープ通過」。雰囲気が変わるとまるで勝手が違うのか、クロツケの名手達の中にも、かなりてこずっていた方もありました。



鬼北町消防団第四分団の「ムカデ競争」。五匹の大ムカデがゴールを目指し悪戦苦闘。五人の息を合わせるのは何と難しいわい！



落ち着いち、味わいながら飲みたいけど、今日はそつもいかんがよなあ……。ゴツクン、ゴクゴク「ちよつと一杯」

おめでとうございます

端室双光章 受章祝賀会

山本孝さん（久保）が、高齢者叙勲で瑞室双光章を受章（七月二十五日に教育長室で伝達式）され、そのお祝いをしようと九月二十九日、自治会による祝賀会が開催されました。山本さんは昭和十四年、吉田尋常小学校に訓導として奉職。以来、戦前戦後の混乱期から昭和五十四年の退職まで、長年にわたり学校教育の推進に全力を注いでこられました。

会場では、熱心な教育姿勢はもちろん、温厚で誠実な人柄でも知られる山本さんのこの度の受章に対し、たくさんの方からお祝いの言葉と拍手が送られていました。



松浦町長から受章の祝辞をうける山本夫妻。孝さんを長年支えてこられた蒼生子（たみこ）夫人は、9月15日開催の敬老行事で米寿の表彰もあり、二重のお喜びの年となりました。

環境大臣から表彰

広見川夢の会

十一月十九日、福岡市で開催された「第3回 日本のきれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」において、「広見川 夢の会」（酒井哲夫会長・三十人）が環境大臣表彰となる最優秀賞（全国で一団体）を受賞されました。「夢の会」の設立は平成八年十月。以後、「自生息ホタルの復活事業・稚鯉の放流・川岸へのナタネ・レンゲの播種・環境に関する講演会」など、広見川の自然を取り戻し保全するための取り組みを長年続けておられます。

大会では表彰式典に続き、実践事例発表会もあり、葛川館長（夢の会事務局）による「夢の会」の活動報告に、参加していた約四百人が熱心に聞き入っていたということです。



環境副大臣から酒井会長へ最優秀賞の賞状が授与された「表彰式典」に続き、大スクリーンに記録写真を映しながら会の取り組み状況を発表する葛川館長。（場所：アクロス福岡 国際会議場）

二十八年目のお色直し

三島公民館改修工事

現公民館の建物は、昭和五十四年に竣工。「社会教育の拠点」として、また地域の連帯を深める「ふるさとづくり推進の場」として、今年で二十八周年を迎えました。

皆さんに大切に利用し頂いているお陰で、随分きれいな姿を維持している当館も、歳月と共に各所が老朽化。その内、緊急を要するものとして、屋上・外壁の防水工事とトイレの改修が十一月から始まっています。

好天が続けば、工事は年内に完了。その間、公民館や診療所を利用される皆さんをはじめ、ご近所の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



足場が組み立てられ防塵ネットに覆われた三島公民館。ネット撤去時には、お色直しが終わり、入念な下地処理（防水）と化粧（塗装）が施された、美しい姿がお目見えする予定です。

ナイスプレーが続出！

三島地区球技大会

十月十四日、三島小学校・三島グラウンドにおいて球技大会が開催され、クロッケー、ソフトボール、レクバレーに多くの老若男女が集いました。

どの対戦も白熱したゲームが繰り広げられ、選手も観衆も大いに盛り上がりを見せました。全ての試合を終了する事が出来ました。運営に協力頂いた区長さんを始め役員の方々、選手の皆さんに感謝を申し上げます。ご協力ありがとうございました。



壮年ソフトで優勝した下大野チーム。松原体協会長より賞状・優勝旗・賞品を受け取る増田繁区長（右）と松原文さん、五島敬さんら。

| | | |
|-----------|----------|-------|
| 各種目の優勝チーム | 青年ソフトボール | 下大野 |
| | 壮年ソフトボール | 久保・延川 |
| | 婦人レクバレー | 川上 |
| | 老人クロッケー | 小松A |

秋味に笑顔がいっぱい

クロッケー&いもたき交流会

戸祇の子学級「お年寄りとお児童との交流会」が秋も深まりつつある十月二十二日、三島小学校・三島公民館で行われました。

午前中は松浦ムネコさん（延川）・松下若恵さん（小松）の指導で「いもたき」の下ごしらえ、午後は各老人会役員の見守りでクロッケー。後は、お待ちかねの「交流会」で、自分で調理した秋の味覚「いもたき」のほか、松下さん・松浦さん手作りの美味しい「ぼたもち」も登場し「食欲の秋」の実践です。

試食後、児童らは、日頃のお礼にと恒例の肩たたきを始め、楽器演奏やマジックショーをお年寄りにプレゼント。世代間の交流が、温かにじんわりと広がっていきました。



食材の仕込みも終わり、いよいよ調理開始。火を熾し、大鍋にお湯が沸いたら食材を入れ、醤油と砂糖と酒で味付け。最後に松浦・松下両先生が微調整を行えば「三島いもたき」の完成です。

全参加者が登頂に成功

「登るつ会」により十二回目

十一月四日、約百人が三島の屋根「戸祇山」（964m）登山を行いました。出発から三時間もすれば最後の一人も無事頂上に到達。天候は曇りながらも眺めはまずまずで、背中にしよって来たお弁当の味も格別でした。

下山後は、今回初となる「きじ汁」のサーブもあり、鬼北町特産品の精緻な味に、何人も参加者がおかわりをしていました。



忘れ物です



三島大運動会（9/23）の忘れ物カメラ用の三脚・スリッパ・折畳み椅子を預かっています。お心当たりの方は公民館までご連絡下さい。電話（48-0111）

行事予定

- 11月 -

- 18日(日) 農民祭
総合文化祭 8:30~
三島小学校
- 25日(日) 体育協会長杯
レクバレー大会 8:30~
三島小学校
- 26日(月) 戸祇の子学級
炭焼き体験(窯入れ)

- 12月 -

- (初旬) 公民館運営審議会
19:00~
- 11日(月) 戸祇の子学級
炭焼き体験(窯出し)
- (中旬) 正月用寄せ植え教室
- 25日(火) 戸祇の子学級
注連飾り作り

祝・祭日には国旗を
立てましょう。

発行者

鬼北町小松 1523
三島公民館
電話: 48-0111
FAX: 48-0303

公民館だよりは、下記のアドレスにアクセスすれば、カラーでご覧になれます。

鬼北町ホームページ
アドレス <http://www.town.kihoku.ehime.jp/>



【牛鬼】

清少納言の「枕草子」には「名おそろしきもの牛鬼」とある。また、ご存知「千と千尋の神隠し」にも牛鬼が登場した。現在の牛鬼は、武将加藤清正が城を攻めるために亀甲車を造り、戦場で活躍したのが起源だとも言われている。(その長い棒の先には牛の生首が刺してあったそうだ。)・・・川上消防団調べ

若一神社の「牛鬼」発足に想つ

今年の秋祭りに、途絶えていた川上の牛鬼が復活。今月号は、その原動力となった川上消防団の一人にペンを執って頂きました。

リレー
エッセイ

我が愛しの三島

【鬼】

古くから我が郷土一帯は、鬼北郷と呼ばれてきた。そろそろ「鬼北町」という町名も、年配者はもちろん若い世代の間にも、ねんごろになってきた感がある。我々にはなじみ深い「鬼」の字は、その昔『九鬼文書』という書物の如く「かみ」とか『ものけ姫』の「もの」といわれていたそうだ。

【牛鬼復活】

さて、今年は秋祭りに若一神社の牛鬼を担ぐ事になった。祭礼の主役「牛鬼」にお目にかかるのは五年ぶりとなる。竹で編んだ大きな牛の様な胴体、丸太で作られた長い首、恐ろしげな鬼の様な頭。子供の頃は、「ボオーボオー」という「ほら笛」の音が、近づき大きくなるに連れ、待ち遠しいやら怖いやらの緊張感が高まったものだった。構想三年、神社役員・老人クラブ・地域

寄附のお礼

の方々温かい心配りで保存会が立ち上がり、今年ついに牛鬼が復活。早朝の宮出しでは、担ぎ手を任された消防団員にも、あの何ともいえない緊張感が走っていた。過疎化、少子化を迎えた今、消火や防災活動など本来の職務に加え、伝統行事の継承に参画する事も消防団の大切な責務の一つとなったのではないだろうか。今後も、団の結束力をもつて郷土愛の高揚を目指し、地域の活性化に貢献していきたいと思う。

次の方から三島公民館・三島自治会へ寄附を頂きました。厚くお礼申し上げます。

- 十月 九日 音地 安美さん(延川)
- 十月 九日 松浦 孝行さん(下大野)
- 十月二十五日 福入 一雄さん(下大野)
- 十一月 五日 土居 勇さん(延川)
- 十一月 六日 小越 誠俊さん(川上)
- 十一月 十九日 芝 和徳さん(広見)